

学習評価を踏まえた授業づくりのために

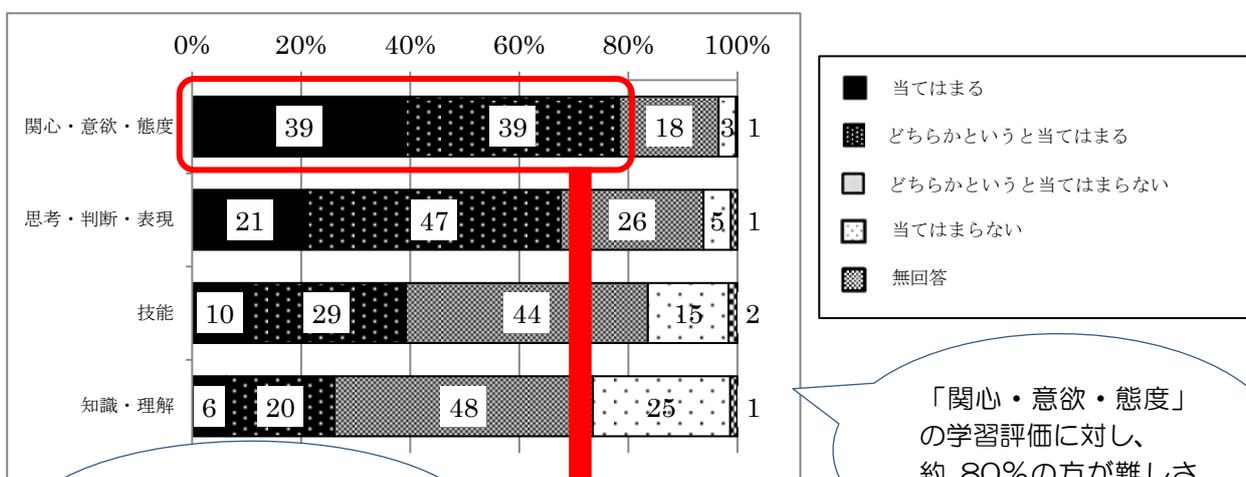
学習評価って？

みなさんは授業づくりをするときに、「困ったな」と感じたことはありませんか？「わかる授業ってどんな授業だろう。」、「活発な発言をさせるためには、どのような手立てがあるのかな。」など、「困ったな」と感じる内容は様々あると思います。その「困ったな」の中に、〈学習評価〉は入っていませんか？

【学習評価に関するアンケートより】（平成26年度、小中学校教員を対象に実施）

<http://www.edu-ctr.pref.kanagawa.jp/Snavi/linkSnavi/pdf/26gakusyuuhyouka2.pdf>

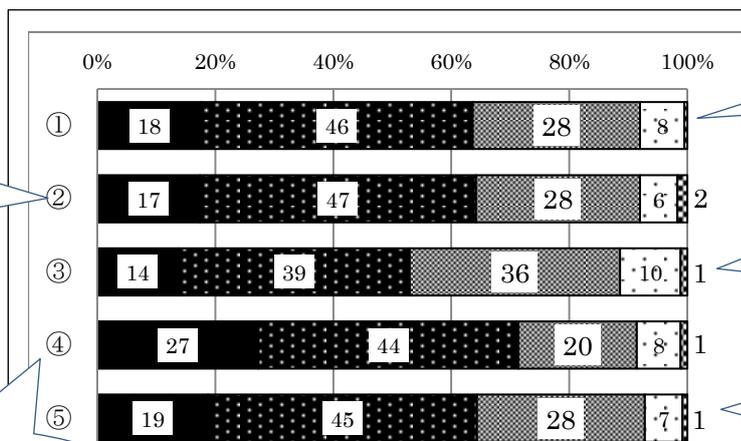
【各観点で難しいと感じている割合】



「関心・意欲・態度」の観点で、難しいと感じる原因は何だろう。

「関心・意欲・態度」の学習評価に対し、約80%の方が難しさを感じています。

【「関心・意欲・態度」の評価をするときに、難しいと感じる理由の割合】



② 評価の方法は？

④ 評価する時間が取れない・・・

① 何を評価するの？

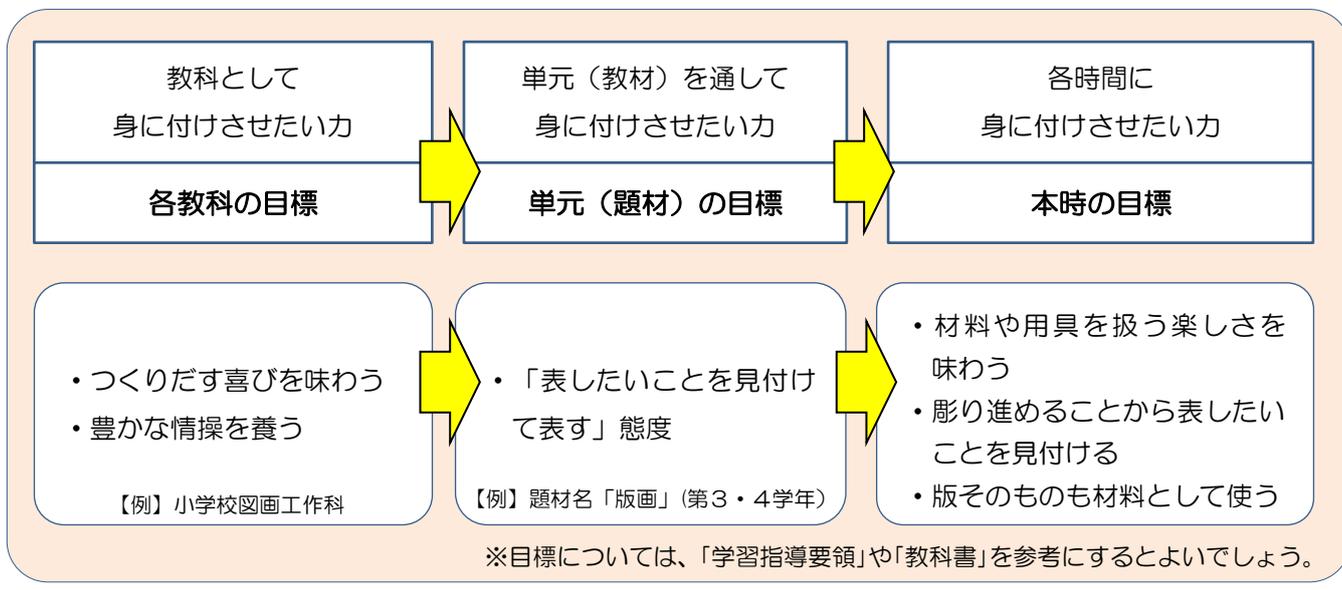
③ 評価をいつすればいいの？

⑤ 保護者への説明が不安・・・

Q. いきいきと活動しているので、「全員が『関心・意欲・態度』はある」でいいですね。

A. 「目標を実現した子どもの姿」を見取りましょう。

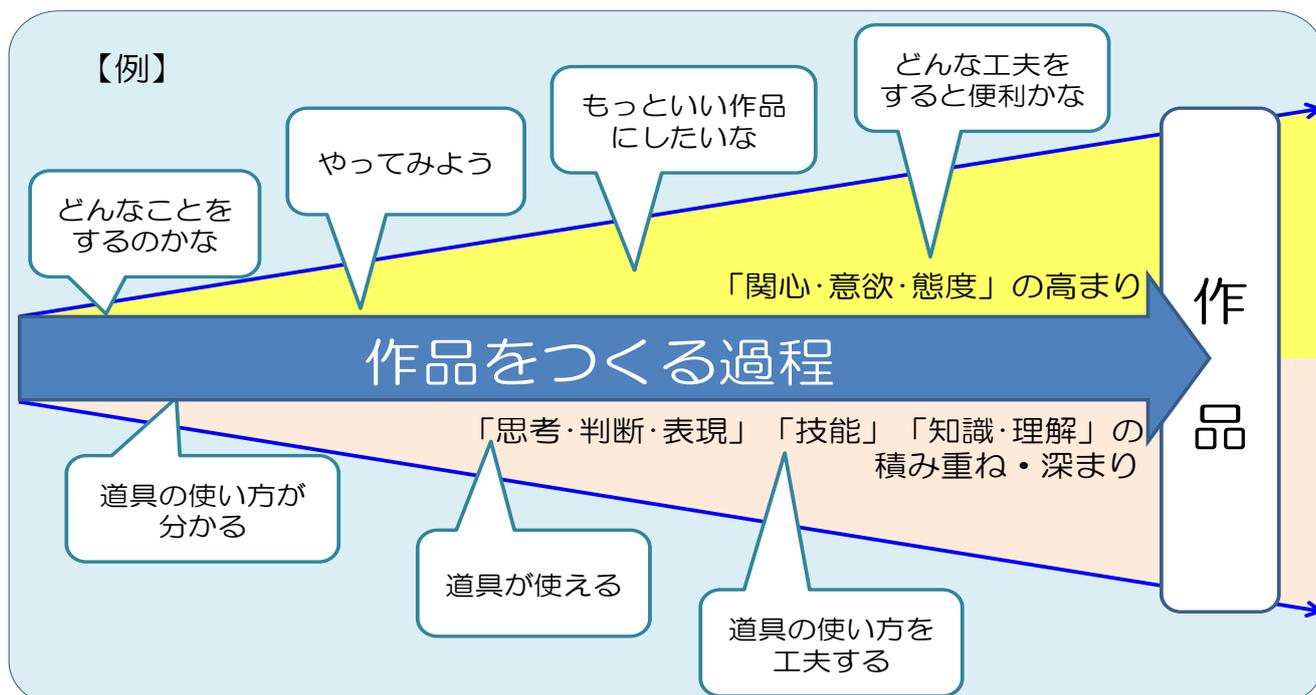
いきいきと活動していることは、その単元（題材）の目標ですか？「関心・意欲・態度」の学習評価は、教科において身に付けさせたい力が定着しているかどうかを見取ります。いきいきとした活動によって、どのような力が身に付いたのかを見取りましょう。



Q. 作品が仕上がらない子どもの評価ができません。

A. 「子どもたちに身に付けさせたい力」は、単元（題材）で見取りましょう。

「子どもたちに身に付けさせたい力」の定着は、仕上がった作品だけではなく、単元（題材）を通して、4観点で見取るものです。作品をつくる過程を通して見取り、指導にいかしましょう。

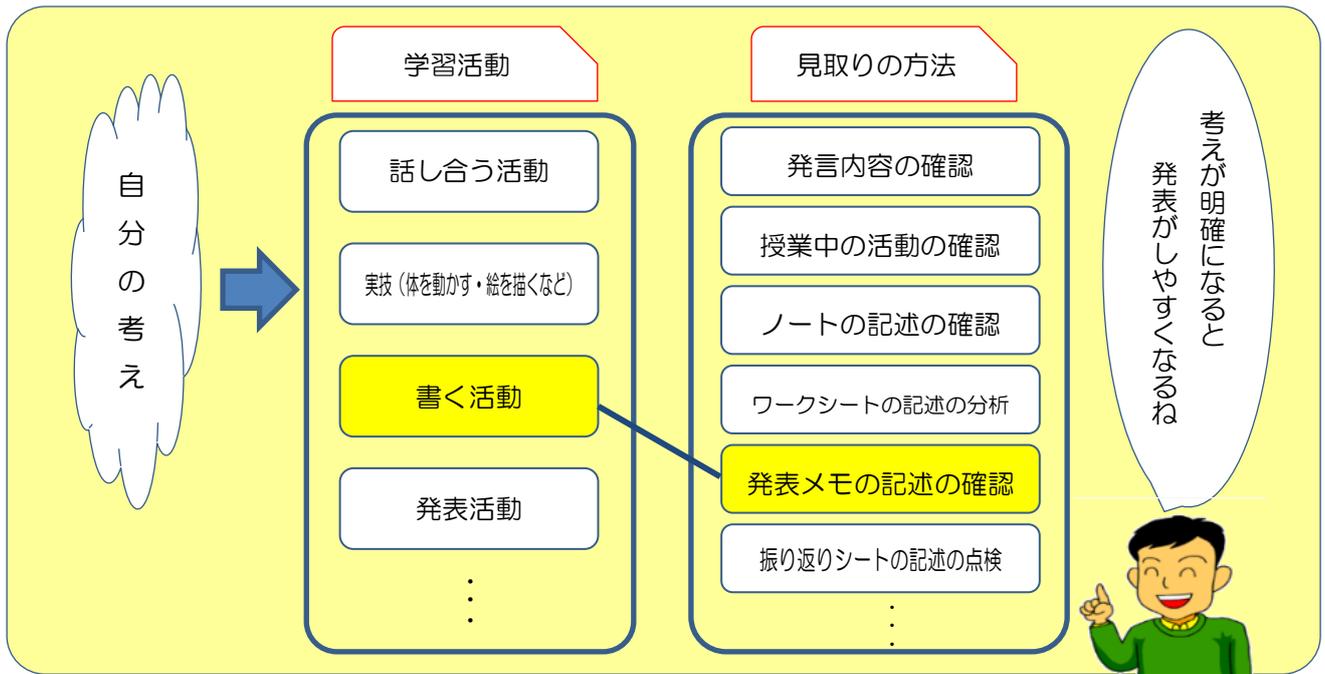


Q. 自分の考えの発表をしてほしいのに、なかなか発表をしません。

A. 見取りの方法と学習活動を合わせて考えましょう。

「発表」しないことは、「発表」に対する「意欲」がないのでしょうか。自分の考えがもてないことが原因かもしれません。学習活動は「発表」だけではないので、学習活動を変えてみましょう。

例えば、「書く」学習活動をします。子どもたちの考えが可視化され、明確になることで、「発表」がしやすくなります。また、発表メモからも身に付けさせたい力を評価することができます。



Q. 指導案を書くのは大変です。何から始めたらよいか・・・。

A. 「身に付けさせたい力を実現した子どもの姿」を考えることから始めましょう。

授業をするときには、単元（題材）や授業の流れを考えます。まず「関心・意欲・態度」の観点において、「身に付けさせたい力を実現した子どもの姿」を考えることから始めましょう。そうすることにより、「身に付けさせたい力」を実現するための学習活動や、学びのプロセスを無理なく考えることができるでしょう。

【例】

身に付けさせたい力は・・・

読書を生活に役立てようとする態度

実現した子どもの姿は・・・

多様な方法で選んだ本や文章などから得た適切な情報を活用している

実現した子どもの姿を見取るための学習活動は・・・

- ・ 図書室の本を使って、調べ学習をする
- ・ 調べたことの中から、適切な情報を選ぶ
- ・ 選んだ情報を使って、新聞づくりをする など



学習評価計画表（仮）【例】

学習指導要領の目標や内容

教科書の内容

児童・生徒の実態

等を踏まえる

単元名：比例と反比例

単元のねらい

伴って変わる二つの数量の関係を考察し、比例の関係について理解し、特徴を調べ、それを用いて問題を解決することができる。

単元の評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
・比例の関係を用いて、問題を解決しようとしている。	・比例の関係という観点から、伴って変わる二つの数量について考えている。 ・式、表、グラフを用いて、比例の関係の特徴を調べている。	・比例の関係にある二つの数量の関係を式、表、グラフに表すことができる。	・比例の関係について理解している。 ・反比例の関係について理解している。

「初発の感想」を書かせる。

単元の流れ

時	観点	具体的な子どもの姿	学習活動	評価の方法
1	思	○例示されたものから、比例を見付けることができる。	・ノートに比例である理由を書く。	点検
2	技	○比例の式が書ける。	・ノートに式を書く。	確認
3	技	○比例の表が書ける。	・ノートに表を書く。	確認
4	技	○比例のグラフが書ける。	・ワークシートにグラフを書く。	点検
5	知	○比例のグラフは「0を通過している」、「直線である」ことが分かる。	・ワークシートにグラフの特徴を書く。	確認
6	知	○グラフの特徴を見付けることができる。	・ワークシートにグラフから見付けたことを書く。	点検
7	関 思	○式や表を用いて問題を解こうとしている。 ○式や表を用いて問題の解き方を考えている。	・ワークシートに、式や表を書き、問題を解く。	分析
8	思	○例示されたものから、反比例を見付けることができる。	・ノートに反比例である理由を書く。	点検
9	知	○反比例の式が書ける。	・ノートに式を書く。	
10	知	○反比例の表が書ける。	・ノートに表を書く。	
11	思 関	○比例の考え方をういて問題の解き方を考えている。 ○日常生活で比例をいかそうとしている。	・ワークシートに比例を用いて問題を解く。 ・ワークシートに比例の学習の感想を書く。	分析 初発の感想と の比較・分析

「終わりの感想」を書かせ、変容を見取る。

ここでは、【確認…確かめる、点検…ポイントを見取る、分析…内容を細かく見取る】とする。

「子どもたちに身に付させたい力」を、日常生活にいかす。

「子どもたちに身に付させたい力」の積み重ね

深め